# 初めてのヘアカット［入門編］

**４回のLessonカリキュラム。**
**昔からのステップに捕らわれず、自在に、最短で、**
**「クール」「キュート」「エレガント」を創ります。**

2017.8

GAFF
EST.1977

| SCHEDULE | | | |
|---|---|---|---|
| | Lesson 1 | ・姿勢（正対）、コームの持ち方、ハサミの持ち方<br>・ヘアデザインセクション（ブロッキング）<br>・頭のセクションごとの役割分担（ワンレンを理論的に解説） | WIG① |
| | Lesson 2 | ・ステーショナリー（ストランドを動かさないでカット）<br>・【AM】30°45°60°　【PM】30°スタイル　60°スタイル | WIG① |
| | Lesson 3 | ・トラベリング①（ストランドを頭の丸みに沿ってカット）30°45°60°<br>・襟足トラベリング45° | WIG② |
| | Lesson 4 | ・【AM】復習：WIG① 左側を60°ステーショナリフォルムをカットする<br>復習：WIG② 左側を60°トラベリングフォルムをカッする<br>・【PM】トータルでヘアスタイルに挑む、毛量調整セニング | WIG①② |

Gaff's Method
Cutting School
for Beauty
Hair Designers

GAFF

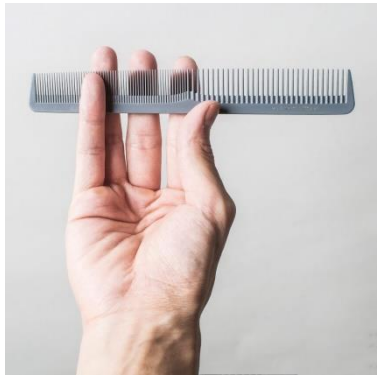
## モデルに対して正対して立つ

バックの左右の1mmの差が サイドきる頃には1cmにもなるカット。
正確なカットを覚える段階においては正しく立つ事は大切です。
両肩と地面が並行。
長く仕事をするには両足に均等に体重をかけて作業しましょう。
足を組むことや、片足立ちはだらしないです。

○

×

## コームの持ち方



まっすぐ伸ばした腕に対してコームが垂直になります。
基本的な持ち方を推奨しています。

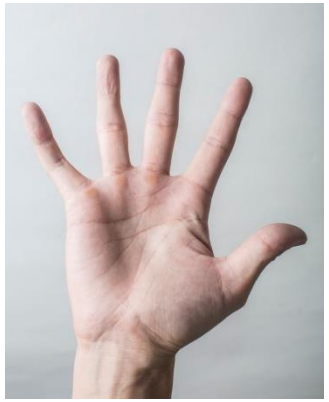
刈り上げや下からすくうようにコーミングする時に。

最も一般的な持ち方です。
髪の量などに影響を受けやすいです。

GAFF

# ハサミを正しく持つ（2パターン）

開閉トレーニング。 動刃、静刃を意識してしっかり開ける様に。コームなし、コームあり、簡単なルーティーンで出来る様に。



掌を上に向けます。

刈シザーを薬指に入れ、
そのまま人差し指の
第二関節に置きます。

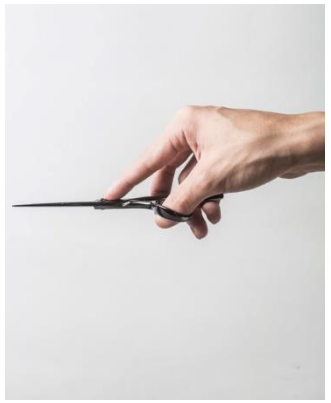
鋏体を人差し指の
根元にずらします。

拇指を添えます。
決して入れません。

示指、中指を挟体沿
わせるように折ると、
シザーが安定します。

ひっくり返して手を伸ば
すとシザー刃先は持ち手
の反対側の肩を指します。

そのままシザーが
身体に平行になるまで
肘を引いてきます。



自分とシザーの距離です。
ここでカットします。

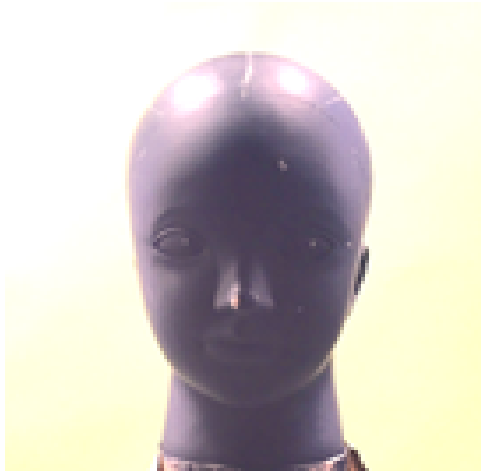
GAFF

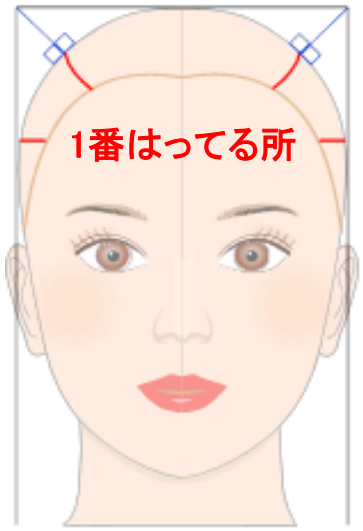
# ヘアデザインセクション

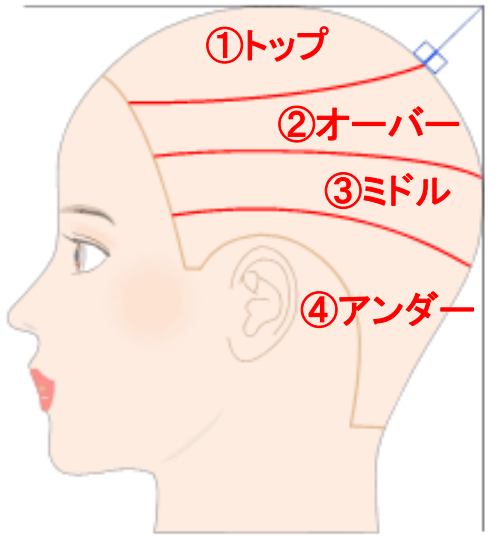
ダックカールの留め方
アウトライン、毛量、動き等、セクションごと
(top　over　middle　underの役割を把握する
フォルムの違いを認識する)
セクションごと
髪の毛がどう動くか、さまざまの現象を認識する

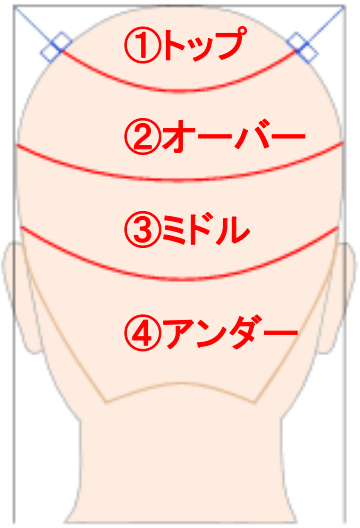
※トップの毛の濡れた髪から乾くと長さの伸縮率
※フェースライン、ネープラインの毛のはえ癖の認識

頭のセクション毎の役割分担
ブラックウィッグを使って、セクションを
チョークで書いてみる。





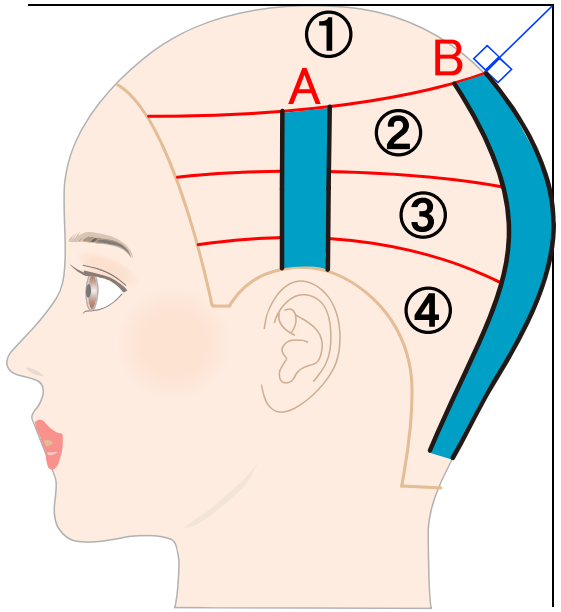



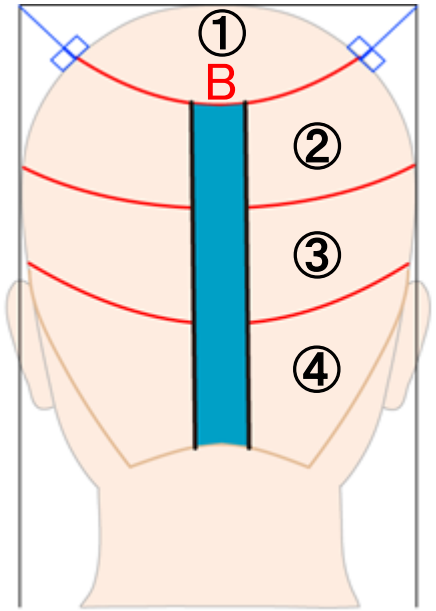



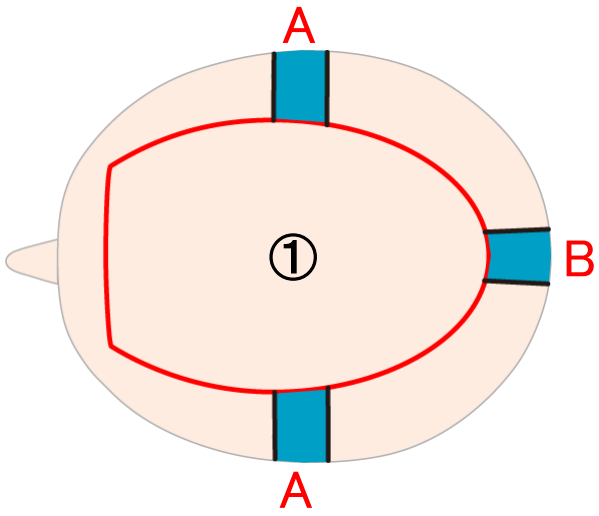

| | フォルム | 毛量調整 | 特性 |
|---|---|---|---|
| トップ① | △ | △ | 毛量調整は注意 |
| オーバー② | ◎ | ○ | 縦のフォルム角度の変化大 |
| ミドル③ | ◎ | ◎ | 縦のフォルム |
| アンダー④ | ○ | ○ | ベースのフォルム |

# ヘアスタイル（フォルム）の為のブロッキング

A：サイドのフォルム（前からのフォルム）　　B：プロファイル（横からのフォルム）



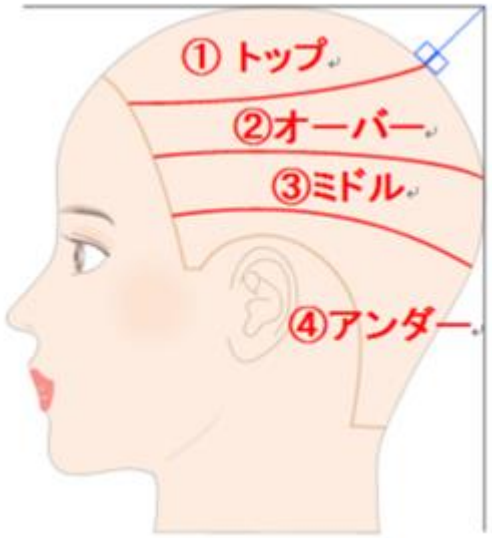




センターパート襟足まで
フロント＆サイド
A：イヤー　toイヤー　前から見て一番張って部分、耳後点（耳の付け根の一番後ろ側）前に2cm
①：トップ（馬蹄）　②：オーバー　③：ミドル　④アンダー
馬蹄を丸く
B：バック　横から見て一番張って部分、みつえりの内1cmを目安にする
②：オーバー　③：ミドル　④アンダー

# ワンレンを理論的に解説（間違いだらけのワンレンカット）

**切って見る**

**ウィッグにおけるトレーニング**
**※切ることに慣れましょう**
**※ワンレングス真っ直ぐに切る。切ったパネルを重ねる。**



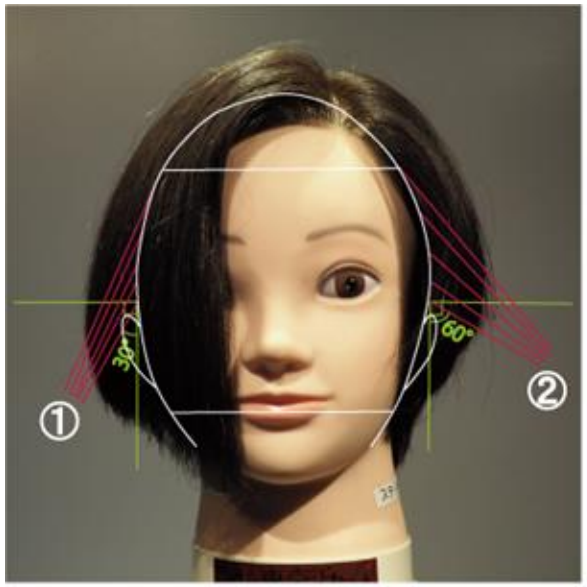
**＜間違いだらけのワンレンカット（注意事項）＞**
**①[おお間違い]ワンレンのラインをアンダーで決める**
**アンダーの髪は生え癖が強くラインのコントロールが不可能です**
**ラインはミドルかオーバーで設定する**

**②毛量のコントロールはオーバーかミドルでする**

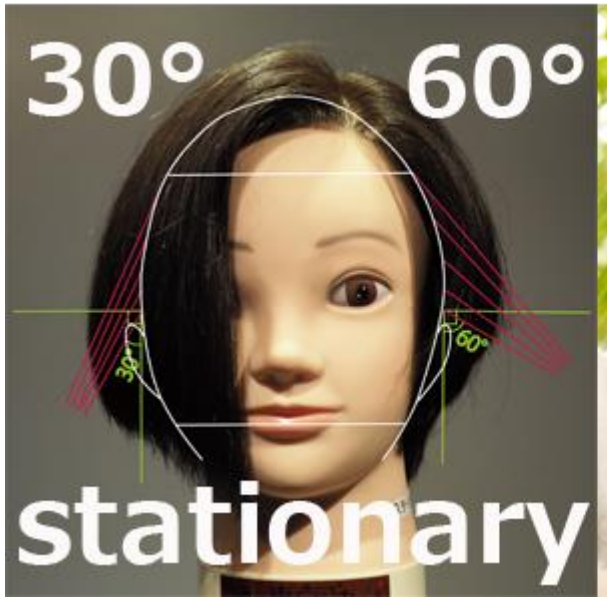
**③トップは動きやすいのでドライ【少なくとも根元はドライ】でカットする**
**レングスがウエットからドライした場合、短くなるのは**
**トップ＞オーバー＞ミドル で有る事を認識する**

**フロントはかき上げる場合も想定する**
**トップ：馬蹄を丸く**
**バック：1.オーバー　2.ミドル　3.アンダー**

# ステーショナリー（ストランドを動かさないでカット）



①30度　②60度　③バック45度　（写真を撮る）



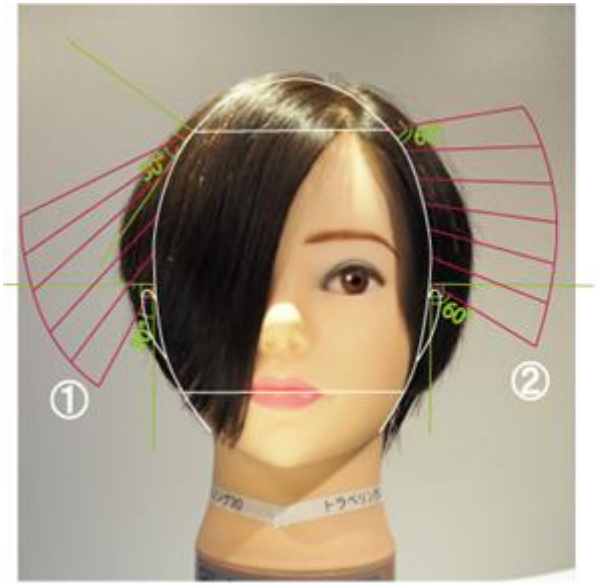
シルエットの違いを認識する

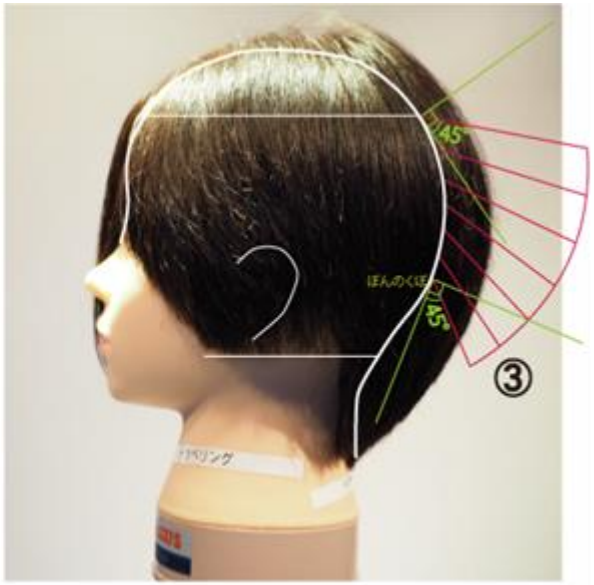
## WIG①左側を60°フォルムをカットする

## WIGで30°フォルムを展示する

**仕上がり写真でフォルムの確認**

# トラベリング①（ストランドを頭の丸みに沿ってカット）

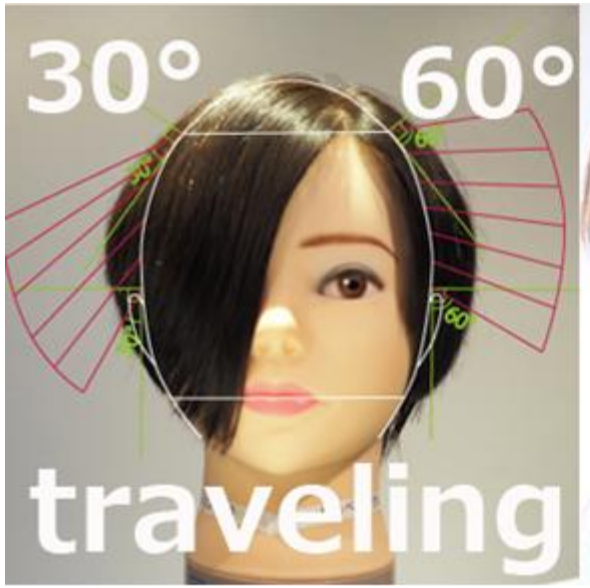



30°　45°　60°　（写真を撮る）

頭の番地（セクション）を意識してそれぞれの場所が
どういった役割を持っているか理解する。

サイド、センターバックを決めたらバックサイドは角度を
合わせて繋げる。



襟足トラベリング45°

## WIG②左側を60°フォルムをカットする

## WIGで30°フォルムを展示する

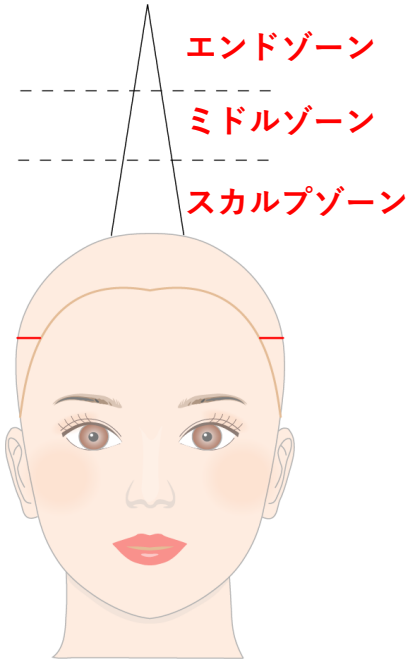
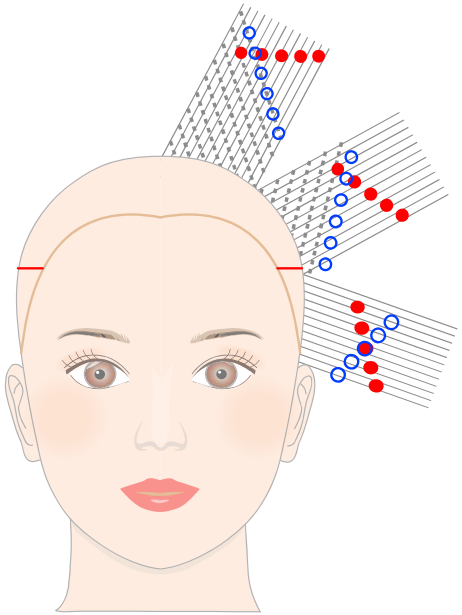
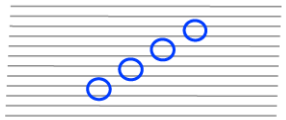
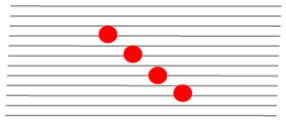
**仕上がり写真でフォルムの確認**

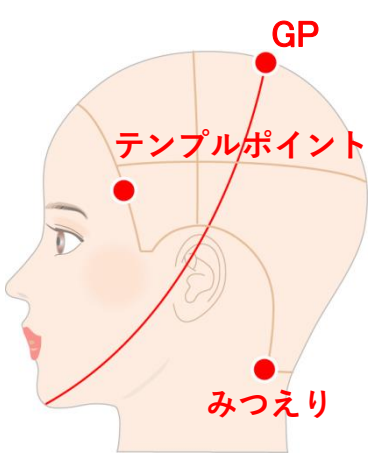
## これまでのカットの復習

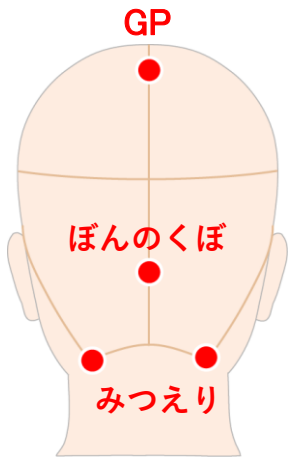
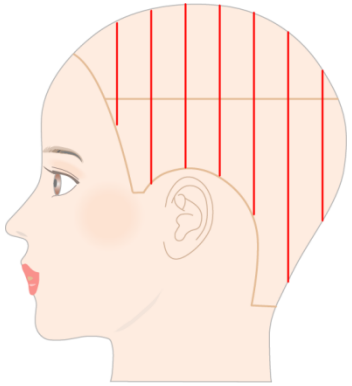
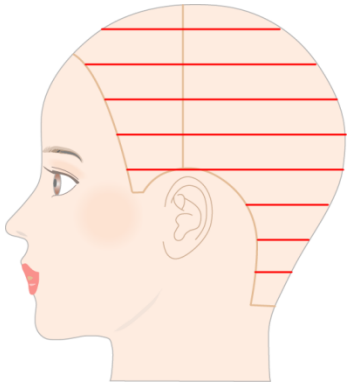
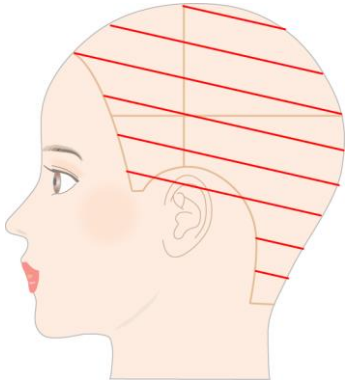
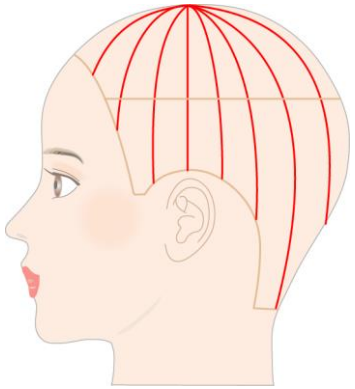
### WIG①左側を60°ステーショナリー フォルムをカットする

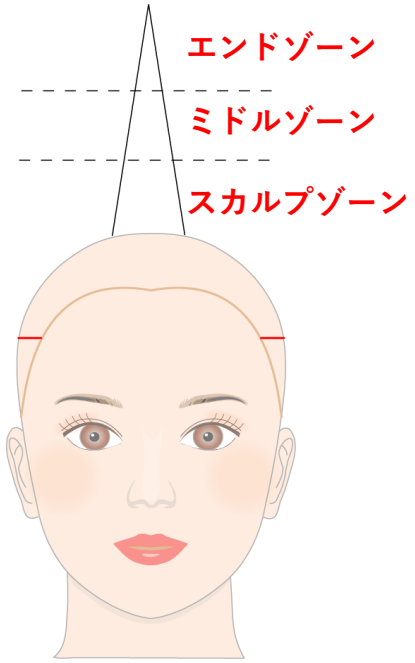
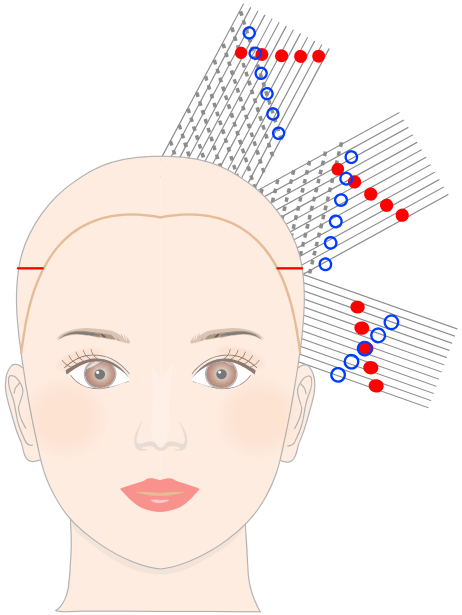
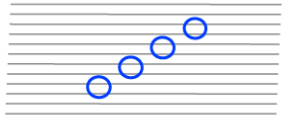
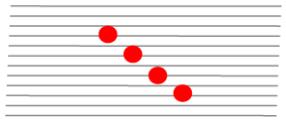
### WIG②左側を60°トラベリング フォルムをカットする

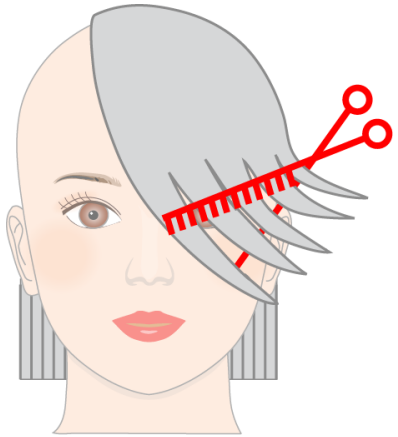
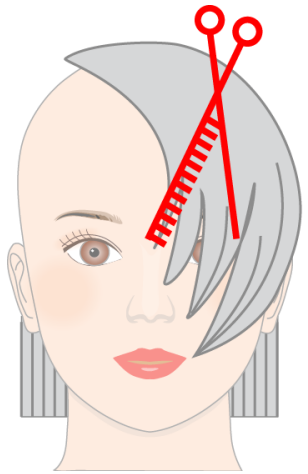
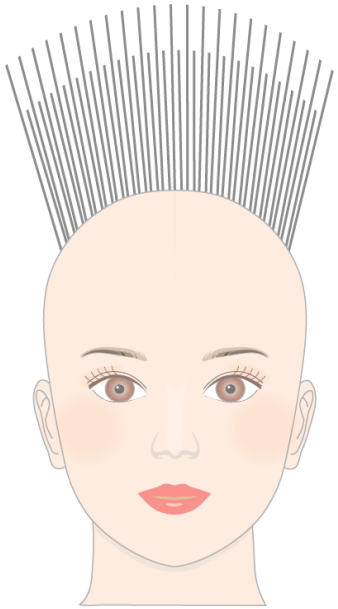
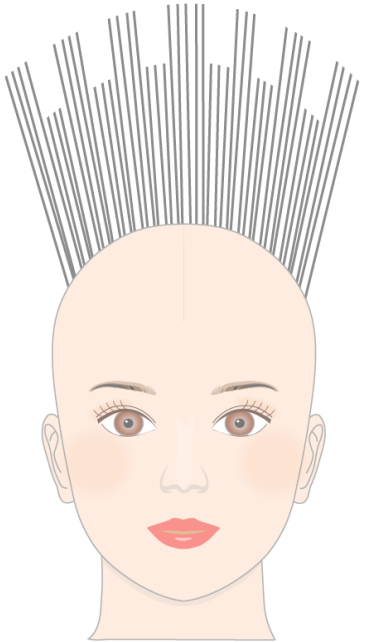
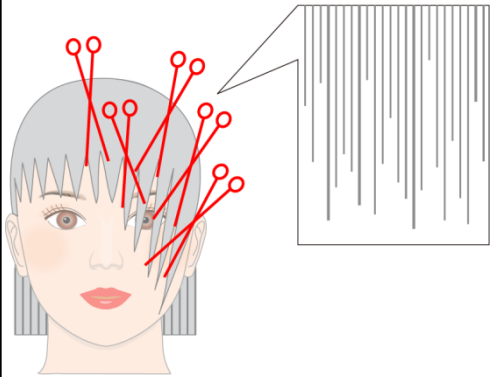
**ベースのフォルムをカット→テクスチャーカットで仕上げる**

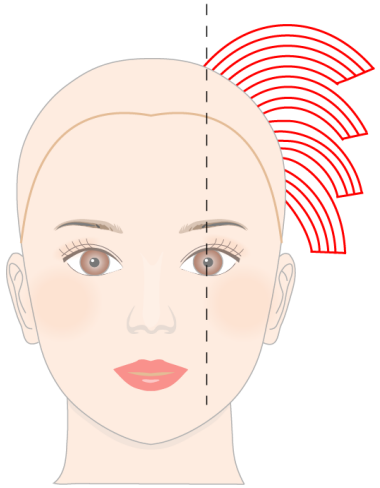
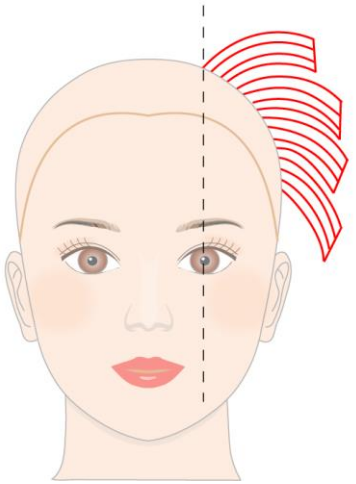
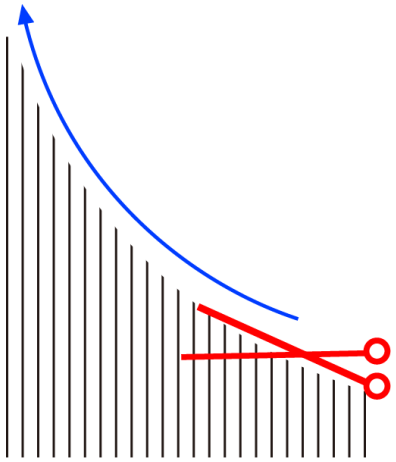
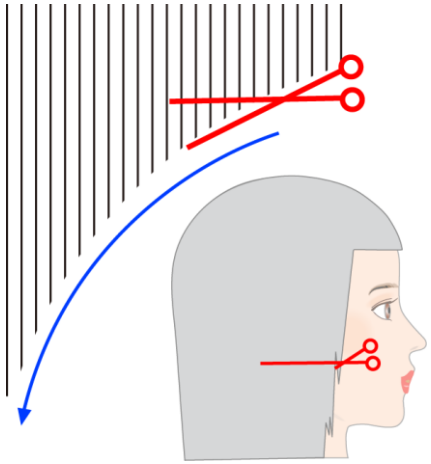
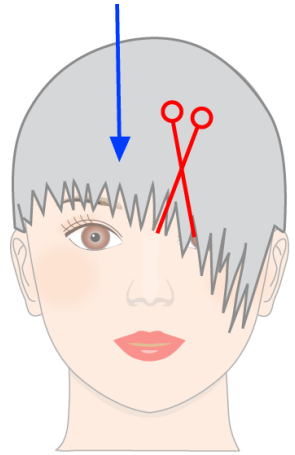
| | | |
|---|---|---|
| セニング<br>（カットゾーン） |  | ＜エンドゾーン＞<br>毛先の毛量調整、量感のなじみを作る<br><br>＜ミドルゾーン＞<br>毛量のコントロールをメイン<br><br>＜スカルプゾーン＞<br>ボリューム感を強調できる。毛量調整が多くできる<br>根元に入れますので切られた毛が強く立ち上がるのを注意。<br>ハーフドライカットで切った方が安全 |
| セニング効果 |  | ----の上ゾーンは、立つボリュームが出過ぎる危険があるため、<br>ハーフドライ状態でカットする。<br><br>※注意事項<br>短い毛が押して毛流を作ると言われていますが、前髪に元々手流があれば<br>効果的です。横には簡単には動かないと認識する。<br>  <br>おさまりやすくなる<br>  <br>動かしやすくなる |

<table>
<tr><td>頭のポイント</td><td colspan="4"> 


</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カットスライスの種類、特徴</td><td>たてスライス<br>  </td><td>横スライス<br>  </td><td>斜めスライス<br>  </td><td>放射線スライス<br>  </td></tr>
<tr><td>横のフォルムを初心者でも簡単に切れる</td><td>たてのフォルムが初心者でも簡単に切れる。<br>多くのフォルムはたてです</td><td>たて横の繋がりを一度に出来る。フォルムを形成するのが角度が難しい。<br>初級者にはフォルムをカットするのが難しい</td><td>カットの起点が有る場合使う</td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| セニング<br>（カットゾーン） |  | ＜エンドゾーン＞<br>毛先の毛量調整、量感のなじみを作る<br><br>＜ミドルゾーン＞<br>毛量のコントロールをメイン<br><br>＜スカルプゾーン＞<br>ボリューム感を強調できる。毛量調整が多くできる<br>根元に入れますので切られた毛が強く立ち上がるのを注意。<br>ハーフドライカットで切った方が安全 |
| セニング効果 |  | ----の上ゾーンは、立つボリュームが出過ぎる危険があるため、<br>ハーフドライ状態でカットする。<br><br>※注意事項<br>短い毛が押して毛流を作ると言われていますが、前髪に元々手流があれば<br>効果的です。横には簡単には動かないと認識する。<br>  <br>おさまりやすくなる<br>  <br>動かしやすくなる |

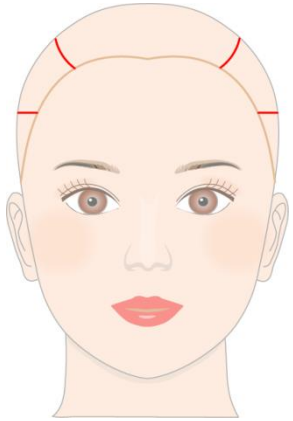
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| セニング |  |  |  |  |  |
| | 横に入れることで単純に毛量を減らす。<br>ファルムの毛を取りすぎない様に注意 | 平行に入れることで部分的にボリュームが減り、毛先が軽く自然になじむようになります | 平行セニングはファルムの毛も無くなる恐れが有りますので注意 | 基本テクニックはセニングと同様ですが、不規則に広い間隔でカットすることによってラフな質感になり、髪の動きが協調されます | 主に前髪やサイドに多く用いる技法で、毛量の調整が主な役割です。<br>カッティングゾーンを変えることにより髪の立ち上がりやボリュームが求められます |

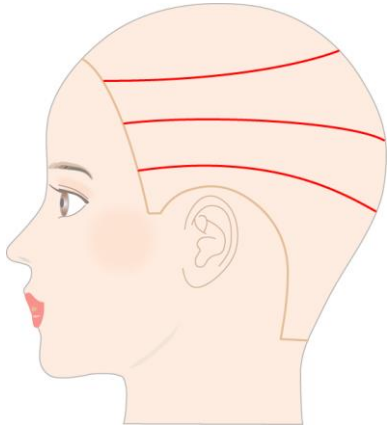
| | | |
|---|---|---|
| テクスチャーカット |  強いはっきりとした質感、ボリューム感を作ります |  ソフトな質感、ボリューム感を作ります |
| スライドカット |  毛先にいくほど細くなります<br>シザーを毛先へ向かってスライドする |  シザーを開閉しながら並行に移動します |  フェースラインの動きに合わせてスライドカットします |

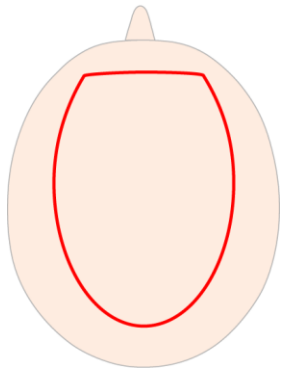
# ヘアスタイルシート

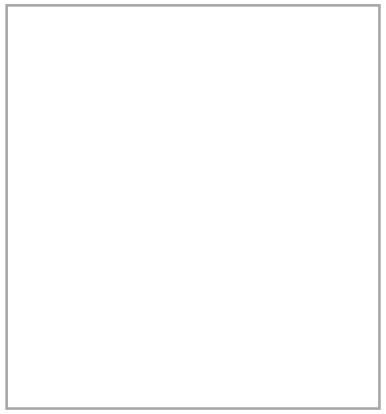
GAFF

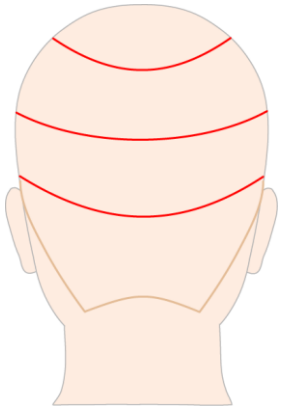
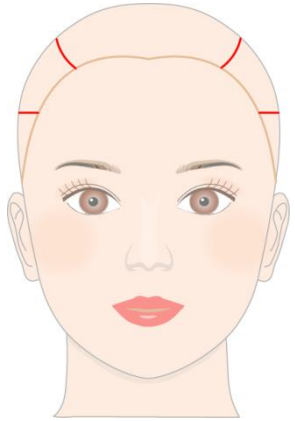
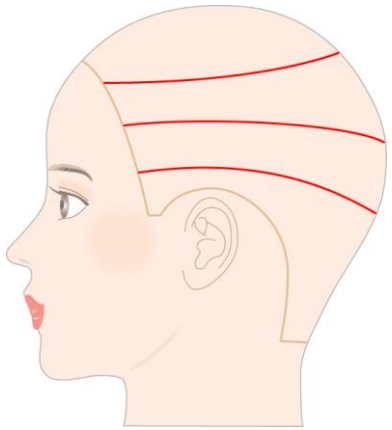
## フォルム、レングス&ライン











## テクスチャー＆セニング